



# 高校野球のマナーとルールを学ぼう (第54回)



一般財団法人兵庫県高等学校野球連盟

グラウンドでの試合を振り返り、高校野球の大切なマナーとルールを学びましょう。  
あなたの「なぜ? どうして?」にわかりやすくお答えします。

## マナー編 グラブの紐の結び方

MLBのイチロー選手を真似ているのでしょうか。最近、グラブの紐が長かったり、全く結んでいない選手をよく見かけます。高校野球のプレイに支障があるのではないのでしょうか。どうも気になります。

「高校野球用具の使用制限」の10項(グラブ・ミット)では、「しめひもは長すぎないこと。親指の長さ程度にすること」と定められています。大切なグラブ・ミットには定期的にオイルを塗布していると思います。皮製のしめひもは時間が経てば、緩みまた延びてくるものです。オイルを塗布する際には、使用制限の内容をよく理解して、しめひもの点検も怠らないようにしてください。

グラブの網にボールが挟まり込み、その後のプレイに支障が生じた場面を最近のプロ野球でも目にしました。しめひもを確実に点検していれば、このようなことはなかったのではないかと思います。しめひもまで制限するのかもしれないと思いますが、その趣旨は、第26回に掲載していますので、ぜひとも参照してください。



## ルール編 塁上の臨時代走者に打順が回ってきた時の措置は?

前月号で、塁上の臨時代走者に打順が回ってきたときの処置を紹介しました。今回は、実際に発生した時の状況を紹介して解説します。(校名・選手名は仮名)

位置	先攻 甲子高校	背番	5
4	太田	4	(四)X(二)
1			(六)⑨
5	鈴木	5	(六)四
2	田中	12	HP
3	高橋	3	I ⑨ (六)
8	伊藤	10	II ⑧
9	小林	9	5E
6	吉田	6	
7			
1	佐々木	1	
8			P.斎藤
7	佐藤	3	(二)(一)
9			③/⑨

○甲子高校5回の攻撃(相手投手が斎藤に代わる)、この回先頭打者の9番左翼手・佐藤がライト前ヒット。(無死走者1塁)

○1番二塁手・太田、ライト前ヒット(無死走者一・二塁)

○2番三塁手・鈴木、**ヒットバピッチ**(頭部)(無死走者一・二・三塁 \*一塁走者は臨時代走者)(高校野球特別規則により「投手と捕手を除いた選手のうち、打撃を完了した直後の者とする」ため、7番遊撃手の吉田を審判が指名。)

○3番捕手・田中、ライト犠牲フライ(1死走者一・二塁・得点1)

○4番一塁手・高橋、サード前にバント安打(1死走者一・二・三塁 \*臨時代走者は二塁へ)

○5番中堅手・伊藤、センター犠牲フライ(2死走者一・二塁・得点2)

○6番右翼手・小林、サードゴロを三塁手エラーで出塁(2死走者満塁 \*臨時代走者は三塁へ)

○三塁にいる臨時代走の7番遊撃手・吉田に打順が回ってきた。

(審判は、三塁の吉田にさらに臨時代走として5番の中堅手・伊藤を送り、吉田を打席に立たせた)

試合では、三塁上の臨時代走者(7番遊撃手)に5番の中堅手を送り、打撃準備の時間をとって試合を進行しました。公式戦ではスコアボードがあること、控審判制をとっていることから、5番打者が打席に入るときに、臨時代走者に更に臨時代走者(上記の場合は、9番打者の左翼手)を送ることが可能であったかもしれませんが、**審判員として、要は打者に打撃準備の時間を取ってあげることが大切なのであり、実際に遭遇した時には、打者の準備状況を良く観察し、対応していく必要があります。**

なお、臨時代走者の記録はすべてもとの走者の記録として扱われるため、現在のところ図のように公式記録にも一切記載されることはありません。